

## ちくさ座の歴史

名古屋市千種文化小劇場（ちくさ座）は、平成14年10月23日に開館しました。平成3年度から、名古屋市が進めてきた「各区に1つの文化小劇場を整備する」という計画の一環でしたが、12番目にあたる千種区においては、画期的な小劇場が立案されていました。

これまでのプロセニウム(額縁)舞台ではなく、客席が舞台を囲む“円形劇場”として設計されたのです。

現代の日本では、円形劇場は珍しい形式ですが、ローマにのこるコロッセオや、シェイクスピア劇のためのグローブ座など、舞台の歴史では、とても重要な役割を果たしてきました。

その円形劇場を、公共施設として整備したのが、千種文化小劇場です。小規模な発表会から気軽にご利用いただける一方、プロの演出家による作品作りまで、幅広い可能性を持つ空間で、「ちくさ座」という愛称も公式に名づけられたものです。

## ちくさ座の外観

盛夏の様子



春～初夏



秋～冬



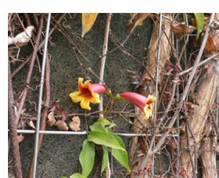
円形ホールをご案内する前に、ちくさ座の外観をご紹介します。箱形に設計された建物の2面（東面・南面）は、壁面緑化が施されています。全部で8種類のツタ植物を使用しており、開館からほぼ半年で、現在のような緑化に成功しました。四季のうつろいととも、日々おもむぎを変えるちくさ座は、毎日、新しい姿でお客様をお迎えする劇場です。

ビグノニア

Bignonia capreolata



開花時期 4月～6月



トケイソウ（時計草）

Passiflora caerulea



開花時期 5月～10月

アメリカノウゼンカズラ  
Campsis radicans



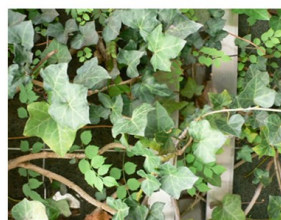
開花時期  
7月～11月



ヘデラ・カナリエンシス  
Hedera canariensis



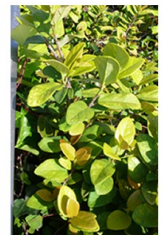
ヘデラ・カナリエンシス  
'Variegata'  
Hedera canariensis  
'Variegata'



ヘデラ・ヘリックス  
Hedera helix



ナツヅタ  
Parthenocissus  
tricuspidata

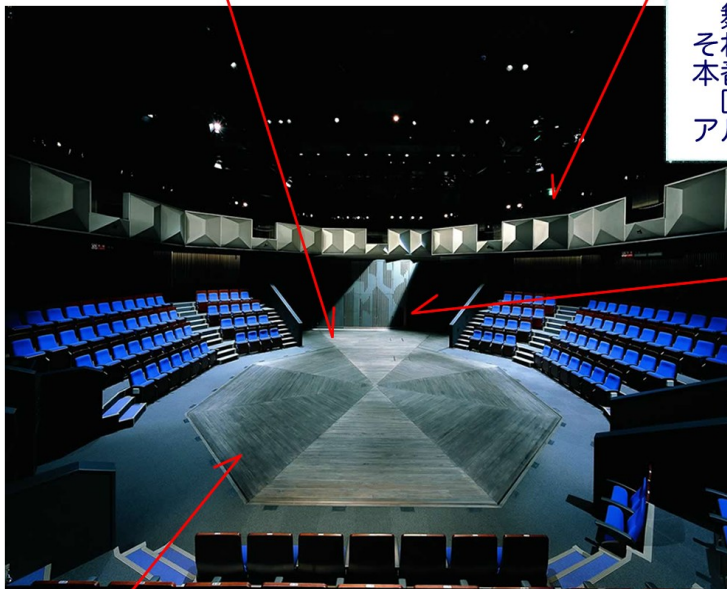


オオイタビ  
Ficus pumila

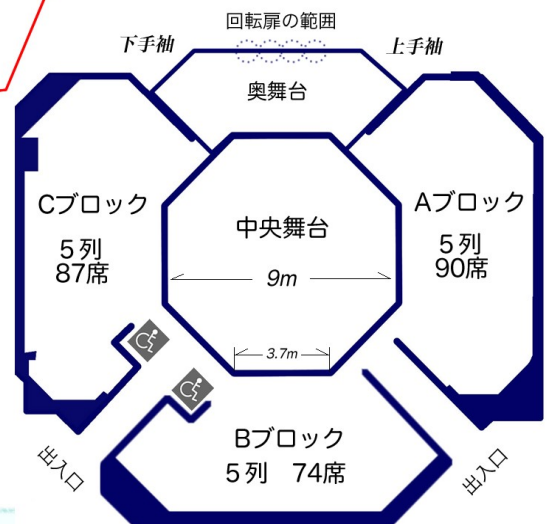
## 円形ホールのご案内

舞台は八角形の中央舞台と、奥舞台があります。  
(奥舞台を基準に、向かって右が上手、左が下手になるのは、通常の舞台と同じです。)  
舞台面はチーク材を組み合わせで作られていて、  
木材のマチエールを、そのまま表現に取り入れていただけます。  
備品のバレエマットや、持ち込みの布などを敷くこともできますが、  
固定には専用のテープか、釘打ちをお願いしています。

ホール2階を囲むテラス状の箇所は「ギャラリー」と呼ばれています。  
投光用の歩路として使われるほか、安全確保という制約はありますが、  
舞台の一部（アクティング・エリア）として使う事もできます。  
前後左右に加えて、上下にも空間が広がる、立体的なホールです。



舞台奥の「でんがく」は、中央が4分割され、  
それぞれが回転扉になっているので、  
本番の出掛けにも使えます。  
回転扉の一面は黒一色の無地で、反対の面は  
アルミステータで模様が描かれています。



舞台は電動で上昇・沈降する機構が備えられています。  
範囲は上昇・沈降ともに最大45cmです（この範囲内で、任意の高さに停止できます。）  
この機構は中央舞台・奥舞台で独立しているのので、  
両方を同じ高さにする事も、落差（最大90cm）をつけることもできます。

中央舞台を囲むように、3方向に、計251の客席が設けられています。  
(上手から時計回りに、A・B・Cブロックです)  
コロッセオのような、すり鉢形状となっているため、客席から舞台を見おろす位置関係になり、  
この点も、ちくさ座の空間を独得なものにしています。  
ほとんどの劇場では、最前列が一番いい席、という事になりますが、  
ちくさ座の251席は、どこが一番いい席になるのか、本番が始まるまでわかりません。

BブロックとCブロックの間には、  
車いすのまま入っていただけるスペースがあります。  
車いす1台と、介助の方に座っていただくパイプ椅子を並べて、  
最大4名様を収容できます。  
館の入り口から車いすスペースまで、段差のない建築構造なので、  
車いすのまま、安全に入っていただけます。



## その他の設備

下手側の搬入口は、高さ4mのサイズがあり、大道具の搬入に便利です。



下手側搬入口

コンサートグランドピアノ（ヤマハNewCFIIIIS）は、上手側のピアノ庫に格納。24時間の温度・湿度管理により、常に本番に備えています。



ピアノ庫

上手廊下には、楽屋が2部屋と、湯沸室・シャワー室、お手洗いが 있습니다。楽屋では手荷物用ロッカー（鍵は事務所からお出しします）や小型冷蔵庫を、湯沸室では、附属の電気ポットをご利用いただけます。廊下に長机をおけば、ケータリングコーナーとして使えます。



上手廊下



楽屋1（楽屋2と同サイズ）

ホワイエ（ロビー）には、ベンチとカウンター、折りたたみ式長机があり、アンケートや物販にご利用いただけます。



調整室



ホワイエ

音響・照明の調整室は2階にあり、舞台全体を見渡しながらオペレートする事ができます。



練習室

2階には、広さ72㎡、高さ最大4mの練習室があります。東・西の2面には鏡が貼られ、西面はバレエ用のバーもあります。ピアノもセミコンサートながらグランドピアノ（ヤマハC2L）をご利用いただけます。練習室単独でご利用いただける他、ホールとあわせてお借りいただくことで、控え室にもなります。（練習室奥の扉を解錠すれば、練習室から舞台上手袖まで、階段で直接移動できる構造です）

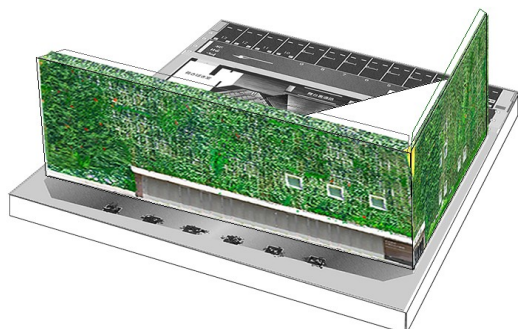
## ちくさ座ペーパーモデル

ちくさ座の概要をご覧いただいた感想は、いかがでしょうか。しかしこのような、縦横無尽に広がる空間を、図面や写真でお伝えするには、限界を感じています。これを“手に取るように”実感していただければ…と、ペーパークラフトにしてお届けします。

「ちくさ座ペーパーモデル」は、内容の再現度にあわせて4つのフェイズ（段階）があり、途中のフェイズでも、一応の完成となります。

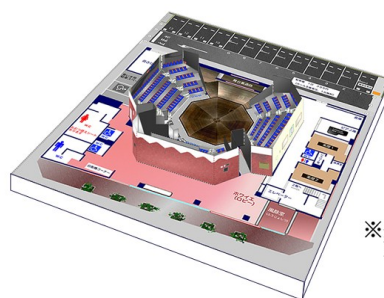
※部品のPDFファイルをダウンロードして印刷する場合、お好みのフェイズに合わせて、必要なページだけ印刷する、という事もできます。

### フェイズ-1 (使用部品：A・B)



台座を組立てて、東と南の緑化外壁を取り付けます。壁面緑化と円形舞台の概要をご覧いただけます。

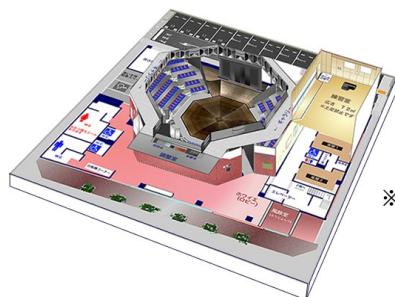
### フェイズ-2 (使用部品：A・B・C)



※緑化外壁は取り外してあります

フェイズ-1に、客席部品を追加します。ホールが立体的になるので、コロッセオのような「すり鉢形状」を実感していただけます。

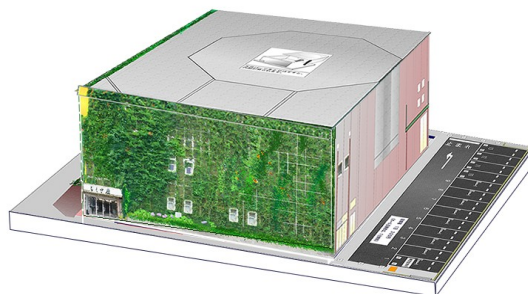
### フェイズ-3 (使用部品：A・B・C・D)



※緑化外壁は取り外してあります

フェイズ-2に、2階部分（ギャラリー・調整室・練習室）を追加します。練習室からホールへのアクセスルートをご覧いただけるほか、でんがくの模様を替えるギミックもあります。

### フェイズ-4 (使用部品：A・B・C・D・E)



緑化されていない外壁と天井を取り付けます。建物の外観と内部構造を、すべてご覧いただけるようになります。

各部品は着け外しが可能なので、組立て後でも、前のフェイズに戻すことができます。（※客席部品だけは固定式なので、フェイズ-2以降からフェイズ-1には戻せません）

#### 組立てに必要な道具をご用意ください

- ・カッターナイフ
- ・カッターマット
- ・はさみ
- ・定規
- ・紙用の接着剤

#### ☆あると便利なもの

- ・細い両面テープ

切り取り線には定規をあてて、カッターナイフでいねいに切り抜いてください。

折り線には、先の尖ったもの（芯の出ないシャープペンシルなど）や、カッターナイフの背であらかじめ折り筋をつけてから折ってください。

この角で、折り筋をつける

